

20

「空気が読めない」と言われる (高3男子)

Q 僕はよく周りの人から「空気が読めない」と言われます。確かにポッチ (独りぼっち) は嫌だけど、だからと言って人の顔色をうかがい、空気を読んでばかりいるのもかって悪いと思います。どうするのがいいのでしょうか。

A 空気を読むのがあまり得意ではない人は、人間関係で失敗が多かったり、人一倍周りに気を付けて振る舞うことで疲れ果ててしまうことも多いでしょう。人の生きづらさとその支援を研究している私自身も得意ではなく、よく失敗しています。

君の言う通り空気を読んでばかりだと、逆に自分がないようでカッコ悪いですね。とは言ってもムーミン谷のスナフキンのように人に合わせず、孤高の人生を生きるというわけにもいかないのが現実です。

この点が苦手な人にアドバイスするとしたら、最低限の暗黙のルールは何だろうか考えてみることです。世の中には、その場その場で何となく存在するルールがあります。初めての人間関係とか集団の場では、まずは様子を見て、飛ばし過ぎず身の振りを考えていきましょう。またちょっとぐらい空気を読まなくてもいいような友達や仲間をつくることも大事です。

空気を気にしないといけない人間関係は疲れます。振り回される場合もあります。もし生きづらいほどの状況であれば、先生やカウンセラーに相談しましょう。

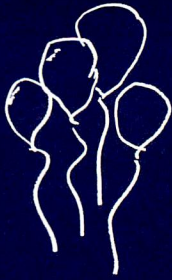
世界の偉人たち、例えば発明家のエジソンとか、アップルの創始者のジョブスとかは非常に社会性に欠けていたようです。でも周りに左右されず突き進むことで社会の発展に寄与したり、人に希望を与えたりと、とてもクリエイティブな偉業をなしています。

とりあえず周りに合わせようと多少努力はするが、あまり気負わず、自分のペースで考えで歩いていくことが大切です。

(岡田智)

みんなで
Column

空気が?



空気が



「宇宙から生き物を守る奇跡の空間」

空気の中に入り込む
フフフ(ちやう)

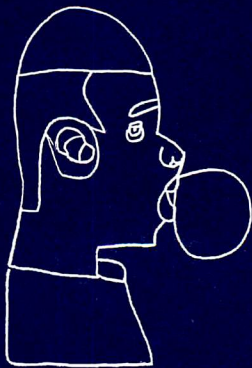
見

み

ピュッ



生きるために必要なもの



空気 → 泡 → 水の中

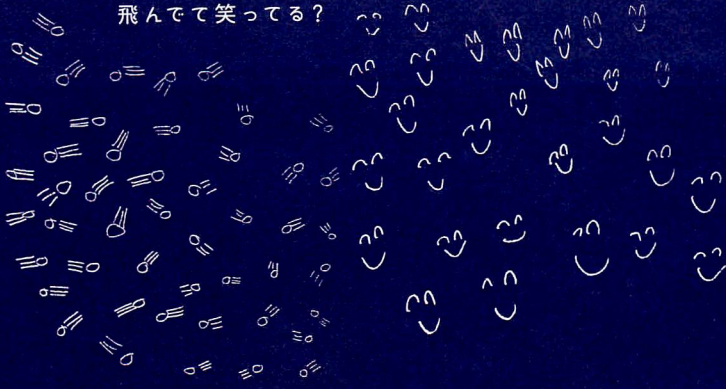
空気が

ナントそとかにナントかたんえ

人間が絶対に必要なもの

陸上生物のほとんども必要とする

飛んでて笑ってる？

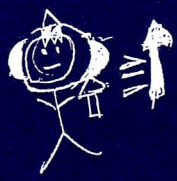
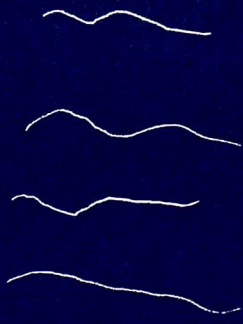


lung

refresh



光合成



空気があつたばかり

成り立ちも生き立ちもよく知らないけれど一番お世話になっているかもしれない汚さないのがせめてもの恩返し

せかじゅうにある風とにている



友達から話している時に空気になる



2019夏・子ども臨床研究部門活動「造形と遊びのサマースクール」より



2021冬・アイスカンドル



2020大晦日の来訪者

21

0歳児で保育園、父親として心配（30代男性）

Q 生後4カ月の娘がいます。妻の職場復帰を機に、4月から保育園に入れる見込みなのですが、こんなに小さな赤ちゃんを保育園にあずけることに、父親としてとても心配です。親子の愛情や成長に問題ないのでしょうか。

A やっと首がすわって、かわいい盛りになってきたわが子を、保育園にあずけていいものかと悩むお気持ちとてもよく分かります。共働きの親にとって、どのタイミングで職場復帰し、子どもを保育園にあずけるのか、共通の関心事だと思います。育休制度の普及もあり、1～2歳児の保育希望が増えて入りにくくなっているため、4月からというのが一つの選択になりますね。

まず、大きく言うと、認可保育園であれば0歳児の受け入れに問題はないと思います。保育園によって違いもありますが、基本的な質は確保されています。ですから、0歳からあずけることそのものはあまり心配しなくても大丈夫です。その上で、赤ちゃんの育ちを知り、園や保育士さんと良い関係をきずいていくことが大切になります。

入園するころ、娘さんは7カ月ごろですから、最初は離れるときに泣くかもしれません。親が誰なのか分かってくるころなので、はじめての人や場所に不安を感じるのです。でも、親が保育士さんと親しく笑顔で話したりしていると、やがて赤ちゃんも「この人も信頼できる」と分かり、親しみを持つようになります。

保育士さんに愛着を持って、娘さんはきちんと一番好きなのはパパママだと分かります。親同士が仲良くなることも、子どもたちに幸せを運びます。園や保育のことで気になることがあったら、がまんせず先生方にきいてみましょう。だいじなのは大人同士の信頼関係ですから。

0歳児後半は、母乳による免疫作用が弱まり、感染症にかかりやすくなる時期でもあります。入園後しばらくは短時間から徐々にならしていけると良いですし、その後もたびたび病気にかかるかもしれません。ある程度そこも想定して、できれば職場の短時間制度を活用するなど、両親が時間的余裕を持てるよう今から相談しておくとも良いでしょう。今は保育園に送り迎えに来ているパパもたくさんいて、心強いですよ。

(川田学)

まるで「内申点の奴隷」です（中2男子）

Q だんだんと成績が下がってきていて「内申点が取れないと進学できない」と言われ、部活をやめさせられそうです。これではまるで内申点の奴隷です。やりたいことが制限されてしまう教育は本当に教育と言えるのでしょうか。

A 教育って何なんだろう。私も中学生の頃、あなたと同じような疑問を持ちました。私はその頃、協調性がなく言うことを聞かなかったので、よくしかられていました。親も先生方も私の素行の悪さを目の前にし、私の将来や学校生活のことを心配して「そんなのじゃ、ろくな大人にならない」と言ったのでしょう。事情や時代こそ違いますが、気持ちは同じですね。

教育は「個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、自主及び自律の精神を養う」とことであると国は言っています。あなたの部活を続けたいという気持ちは自主的精神のある、非常に価値のあるものです。一方で「内申点が取れない」「行く学校がなくなってしまう」といったマイナスの気持ちから起きる行動は主体的ではありませんし、持続する意欲も起きなくなります。

先生や保護者の立場としては、今後のあなたの不利益を懸念し（受験を失敗してしまうかも、という気持ち）、部活を制限しようとしたのかもしれませんが。そうはいっても、あなたは自分の選択に対して自分で責任を持ち、自分で決定するという権利も持っています。もう一度、先生や保護者の方と話し合ってみてはどうでしょうか。

どのような結果であれ、自分で選んだことは自分の責任であると受け入れていくことが問われます。覚悟をもって、先生や保護者に気持ちを伝えてみましょう。折り合うところが見つかるかもしれません。また、あなたの気持ちも理解してくれるかもしれません。

内申点に縛られてしまう教育の課題は、私もひしひしと感じています。あなたの疑問から、われわれ大人の取り組むべき大事な課題が垣間見えました。子どもたちが周りから縛られ、促されて動かされるのではなく、自身の生活や価値、将来を内発的に感じ、主体的に動いていくことができるような教育とは何だろうか。われわれ大人に課されています。

（岡田智）

23

朝起きられません（中2男子）

Q 朝なかなか起きられません。親には「起きられないのは早く寝ないからだ」と言われますが、そんなに遅い時間に寝ているわけではなく、早寝しても起きられません。

A 自分でもどうしようもないことを本人の努力のせいにされたり、話を聞いてもらえなかつたりするのはつらいですね。

一般的に思春期は、眠くなる時期です。10代は身体が変化することで、睡眠をつかさどる体内時計が2時間ほど遅れるからです。つまり、夜になってもなかなか眠くならない。だから寝るのが遅くなり、朝起きるのがつらくなるわけです。

一方、あなたのご両親の年齢である中年期は、仕事や家事が忙しくなることで、夜、それまでよりも早い時間に眠くなります。つまり親たちが早く寝るようになる一方で、子どもたちはより遅く寝るようになっている。そのため、あなたのご両親のように「起きられないのは早く寝ないからだ」というような発言が飛び出すのかもしれませんが。

では、どうすればいいのか。まずはご両親に思春期に関する科学的な知識を知ってもらうことです。

「思春期は眠くなるのが遅くなるし、大人よりも長い睡眠時間が必要になる。だから学校のリズムに合わせようとする、どうしても朝、起きられないことのほうが普通である。そして、朝、起きられない自分はある意味でよく育っているのだ」。こんなことを伝えたいと思いますよ。

ネットで「思春期」「睡眠」などをキーワードにすればたくさんの記事がヒットします。良い記事を「読んで」とLINEでご両親に送るのも良いかもしれません。

そうは言っても、睡眠不足は思春期のころによくない影響を与えることも分かっていて、ある研究は思春期の子どもは8・5時間以上の睡眠をとることをすすめています。

なるべく早く眠くなるにはどうすればいいか。多くの研究が共通して言っていることがあります。一つは、日中によく日光を浴びる、つまり屋外で活動することです。もう一つはスマホやパソコンを寝る直前までやらないこと。これらのライトには目をさませる作用があるからです。この辺りから始めてみてはいかがでしょうか。

（加藤弘通）

24

修学旅行が延期 落ち込む娘（40代女性）

Q 中学3年生の娘をもつ母親です。娘がとても楽しみにしていた修学旅行が新型コロナウイルスの影響で延期されてしまいました。娘は「延期だけでなく、もしかしたら中止になるかもしれない」と、とても落ち込んでいます。母親としても、何とか修学旅行を経験させたいと願っており、どう考えてよいのか困っています。

A お嬢さまに修学旅行を経験させたいとのこと、多くの方もそう願うことでしょう。ご質問をいただいた時よりも日々事態が良くない方向へ変化していますから、ご心配は修学旅行にとどまらなくなっているかもしれない、胸が痛みます。

修学旅行は、1880年代半ばに東京師範学校が徒歩での長距離旅行を実施したのが始まり。その後、日本の多くの学校に広がりました。今では運動会などと並んで学校教育に欠かせない行事となっています。

日本修学旅行協会による2018年度調査によれば、日本全国の多くの中学校が、歴史学習や芸術鑑賞・体験などの学習活動と関連づけた修学旅行を実施しました。修学旅行は、学習指導要領の特別活動にも記されているように、各教科などとともに学校教育のカリキュラムに位置づけられています。楽しい思い出にとどまらず、普段できない体験を通じて学習活動を充実させたり、集団生活を経験したりする教育活動です。

休校措置が続く現在、学習の遅れが不安視され、家庭での宿題やオンライン授業などの取り組みがなされています。一方で、それらでは補えないものも多々あると思われます。修学旅行での経験と学びは、その一つだと私は思います。

20年度の学習期間が実質的に短くなっていくなかで、学校の教育活動をどうするか、子どもたちの心身への配慮とともに、学校も教育委員会等も考えています。その際、子どもたちや保護者の意向も重要です。

可能であればお嬢さまの意向をくみとりながら、学校と情報交換をされてはいかがでしょうか。先生方がとても大変ですが、正解のない対応をしなければならない今、誰かを責めるのではなく、多くの知恵と力を合わせる姿を、子どもたちに見せられたらと思います。それを見ることは、この先どんな状況になっても、いつかきつとお嬢さまの心を励ますことと思います。

(近藤健一郎)

25

長い休み、勉強が進みません(中2男子)

Q 長い休みの時の宿題がはかどりません。「計画を立ててやればいい」と言われますが、計画を立てても、ついゲームなどをしてしまいます。どうすれば、やらないといけないことを後回しにせずにできますか。

A 休校中や夏休みに計画的に勉強するのはなかなか難しいですよ。まずお話ししたいのは、これは大人にとっても同じ、ということです。私も、つい後回しにしている、しめきり直前に大慌て、ということがよくあります。子どものころから何とかしたいと思っているのですが。

また「すぐにやるかどうか」には個人差もあるようです。あなたや私のように「後回しにしない方がいいと思うけれどできない」という人もいれば「先に終わらせないと落ち着かない」という人もいます。私の知人の中には「しめきりが近づいてからやる方がいい」という人もいました。時間が足りないくらいの方が集中できるのだそうです。

さて「難しい」ばかりでは答えになりませんから、いくつか提案してみます。

《1》ごほうび作戦…「終わったら好きなゲームをする」「おいしいお菓子を食べる」など自分にごほうびを用意する方法です。ただ、ごほうびが気になり過ぎて、途中でつい手を出してしまうことがあります。

《2》分割作戦…全部やろうと思うと、やる気が出ないことがあります。最後まで終わらなくても「とにかく15分やる」と決めて取りかかります。タイマーを使ってもいいかもしれません。15分が過ぎるのを、ただ待つしまうこともあるので注意してください。

《3》共同作戦…一人でできない時は、誰かと一緒にやるのもいい方法です。今は同じ部屋は無理かもしれないので、同じ時間にやると決めて、時々電話などで連絡しながらやってはどうか。ついおしゃべりに夢中になってしまうのがこの方法の欠点です。

さあ、少しは役に立ちそうですか。なかなかいい方法はないなあ、と思ったかもしれませんが、そうなんです。「やらないといけないことを後回しにしない」。これは大人にとっても難しいことなのです。だからあまり悩まず、少しでも進んだら自分をほめてあげるのがいいかもしれませんね。

(関あゆみ)

26

コロナで毎日が落ち着きません（中2女子）

Q 新型コロナウイルスのせいで休校になったり、外出の自粛が続いたりして、これまで普通だった生活が全然できなくなりました。学校は再開したけれど元通りではないし、これからも「普通じゃない生活」が続くのかなと思うと、気持ちが落ち着きません。

A 新型コロナの国内初の感染者が出てからまもなく半年になります。「緊急事態宣言」が解除されたとはいえ油断できない毎日ですよね。これまでの当たり前の「日常」が一変し、当たり前じゃない「非日常」が今や「日常」になっています。知らず知らず、日々の生活にイライラしたり、心の底のネガティブな感情や瞬間的な心の動きに自分自身も驚き、情緒不安になることがしばしばあるかと思います。私もそうです。

こうした不透明な状況では無理に前に進もうとするより、むしろ一度立ち止まって視点を変えてみることも、〈非日常の日常〉を送る術（すべ）かもしれませんね。

韓国の学校教育制度に、「自由学期制度」があります。2016年度に全国の中中学生を対象に導入されました。子どもたちは1学期（6カ月）の間、学校を離れ、自ら学びを探究し自らの考えを探索します。いわゆる「自己主導型学習」で、子ども自らが学びを紡ぎだしていく方法です。子どもたちは試行錯誤をしながら、主体的に学びを創造するプロセスを学び、多様な活動を展開していきます。

例えばAさんは、それまでの生活でおろそかにしていた「自分」を振り返り「弱い自分」「強い自分」「できる自分」といったさまざまな自分と向き合う〈自分砕き〉と〈自分探し〉の旅をし、一つの冊子にまとめたそうです。Aさんは、ゆっくりとした自分自身との出会いを通し、今まで味わえなかった自分への「共感」が生まれたそうです。

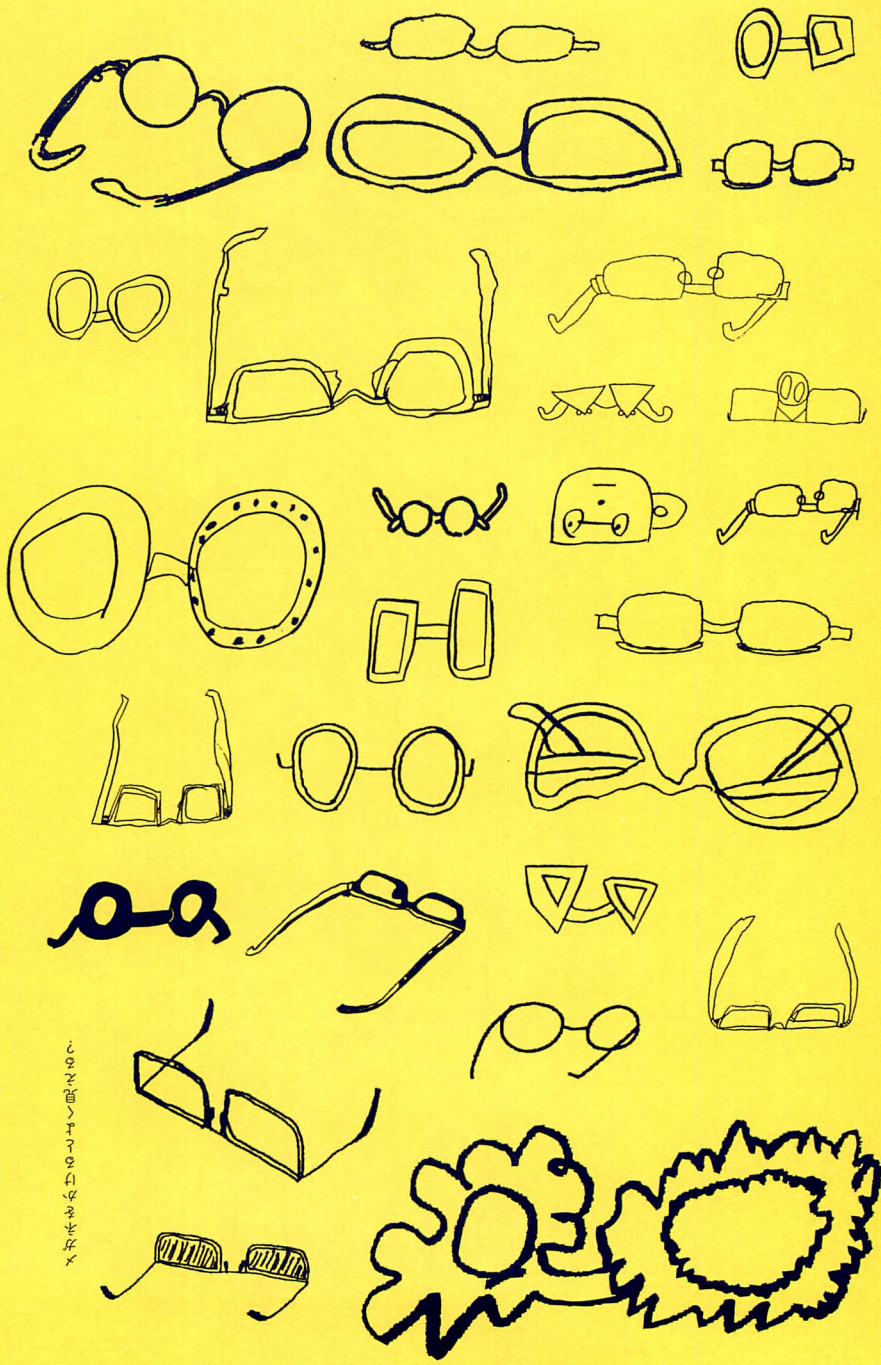
新型コロナ感染症によって私たちの日常は一変してしまいました。しかし少し視点を変えて、この時期に自分なりの〈自由学期制度〉が与えられたと思ってみませんか。もちろん一つの例にすぎませんが、これまでとは異なる楽しさを探究し、発見することで、今の〈非日常の日常=Withコロナ〉を、少しは落ち着いて過ごすことができるのではないのでしょうか。

（宋美蘭）

「だれもみたことがないけど、だれもがもっているもの」



Vertical text on the left margin, likely bleed-through from the reverse side of the page. The text is dense and mostly illegible due to its orientation and overlap with the drawing area.



Handwritten vertical text located in the lower-left quadrant of the page, possibly a signature or a note related to the sketches.

27

世の中変わる？ 不安大きく（高3男子）

Q 新型コロナウイルス感染症の拡大で、世の中は大きく変わると言う人もいます。私はそんな中でやっていけるのか、よくわかりません。漠然とした不安がだんだん大きくなってきたのですが…。

A 先が見通せない時には、誰でも不安になります。目隠しをしたまま前へ進めと言われても足を踏み出せるものではありません。

確かに、この数カ月の変化は劇的でした。遠隔形式の授業や会議が一気に定着し、その一方で、遠隔や非対人形式では遂行できない仕事は深刻なダメージを受けています。今回の感染症拡大の前から、AI・ICTやロボットの普及によって「今の子どもたちの65%は、大学卒業時に、今は存在していない職業に就く」「今後10~20年で、雇用者の約47%の仕事が自動化される」といった研究者の予測が文部科学省の文書でも引用されていました。感染症拡大によって、もしかするとそのような傾向が強まるかもしれません。

そうすると、時代の変化という「バス」に乗り遅れないために頑張らなければならない人もいるでしょうが、「バス」停までダッシュできない人や、そもそもどの「バス」に乗ればいいのかわからない人もたくさんいます。焦燥感に耐えきれず専門家に救いを求める人も増えるかもしれません。

でも、いったん立ち止まって考えてみてください。誰かが運転する「バス」に乗ることを強制され、専門家の指示に従わされる生き方って、何か変だと思いませんか。受け身ですよね。

自分の人生なのに、なぜそんなに受動的にならないといけないのか？それは大事な問いです。私が私でありたいと願うことは当然であり、私たちの最も基本的な権利として尊重されています。「バス」に乗るといふ生き方をしなければ生きていく資格がないなどと言われる筋合いはありません。「バス」を運転するのは私たちです。「バス」を創り出すのも私たちです。

不安に打ちひしがれ、自分を責めるのではなく、同じような不安や疑問を持つ仲間と話しあい、社会を構成する一員として、積極的に発言してみましょ。必ず応えてくれる人たちが現れます。あなたの不安は、新しい社会をみんなで創るための宝物なのです。

（宮崎隆志）

5歳 夜、急にシクシク泣きだす（30代女性）

Q 幼稚園年中（5歳）の息子が夜になるとシクシクと泣いたりして心配です。家庭は特にこれといって変化もないですし、幼稚園も元気に通っていると思います。きっかけもわからずに、急に涙目になったりします。大丈夫でしょうか。

A 子どもが情緒的に不安定になるにはいろいろな場合があります。まず大人もそうですが、昨日はウキウキだったけれど今日はあまりやる気がでない。そういうことは誰でも経験があるはずですが、でも今回のお話を伺うとそれとはちょっと違うそうです。一時的というよりも最近続けてそのような感じだから、お母さんが心配になっているのですね。

同じような話を思い出しました。A君は夜お風呂に入ってシャンプーを洗い流すために、お父さんがシャワーで流してやっていたところ、もう終わったよと言っても顔を上げないので、のぞいてみると涙を流していたのだそうです。Bちゃんは布団に入って絵本の読み聞かせをしてもらった後、消灯してさあ寝ようという時に「シクシク」。いずれも4～5歳の子どもたちで、日中の園でも家でも特に変わったこともないように見える子たちでした。

4～5歳というのは、自分自身を振り返る力が芽生えてくる時期です。でもまだ行動の自制は十分でないし、気持ちを言葉で上手に伝えるのも難しい。いわば「わかっちゃいるけどやめられない」年頃と考えられます。

さきほどのA君にお父さんがどうしたのかたずねると、こう言ったそうです。「またお友だちたたいちゃった。だめってわかってるのに」。きっと悔しかったのでしょう。わかかってやってしまった自分にも、それを周囲の人たちにうまくわかってもらえなかったことにも。昼間の出来事が、家に帰って安心した頃にフツと思い出されて泣けてきた。そんな感じかもしれません。息子さんにも心当たりはないでしょうか。

こういうことは、心の成長の節目節目に何度も見られます。親は心配になるし、時にはイライラするでしょう。つき合うのも骨が折れるものですが、基本は話をゆっくり聞いてやって「そうかそうか人生つらいこともあるもんだな」と共感してあげると落ち着いてくるかもしれません。

（川田学）

愛犬との突然のお別れ（小4女子、母親）

Q <小4女子>小さい頃からずっと一緒にいた犬のペロが急に死んでしまいました。お医者さんは「前から病気があったようだ」と言っていたけど、前の日までとても元気だったのに。悲しくて何もできません。ふと思い出して息苦しくなって、何も考えたくないです。

<母親>うちの子、愛犬のペロがいなくなってから気が抜けたみたいで、時々、涙ぐんだりしています。あまりしゃべらなくなって食事もほとんど食べません。このままじゃダメと思って外出に誘ったりするのですが、まったく応じてくれません。

A 大好きで仲良しだったペロがいなくなってしまったこと、悲しくて寂しくて、理由もはっきりしなくて、どうしていいかわからないと思います。思い出すのもしんどくて、何もかも忘れたらいいという気持ちになるかもしれませんが。

天国のペロも急にあなたに会えなくなって寂しく悲しく思っていることでしょう。あなたとペロの気持ちがなんとなく通じ合うとよいですね。そのために、少しつらいかもしれませんが、ペロがいた頃の話をお母さんと一緒にいろいろしてみるとよいかもしれません。

もう一度、ペロをあなたの心にはっきりと映し出してあげてください。小さい頃からの写真などをお母さんと見たりしながら、どんなに仲良しだったか、どんなに楽しかったかを話して、天国のペロと一緒にいてくれたことの感謝の気持ちを心で伝えてあげましょう。あなたとペロはきっと通じ合えると思います。

お母さんへ。かけがえのない身近な存在が急になくなる事実を受けとめるのはとても難しいことです。考えないようにして忘れようとすることもあります。

でも悲しみを癒やすことなく、記憶が思い出になっていくことはありません。ですからお子さんのつらい気持ちをお母さんが受けとめながら、お子さんがペロとの体験や思いを語るお手伝いをしてあげてください。

ただひたすらに悲しい気持ちも、それを言葉にすることで、少しずつ、その悲しさの意味が見えてくるものです。語りを尽くすことで、きっとお子さんはペロとの心のつながりを再発見されると思います。

(安達潤)

30

第2希望校が見つかりません（中3女子）

Q 受験生です。行きたい高校がありますが、現在の内申ランクでは合格できるか微妙です。その他に行きたいと思える学校が見つからず、第2希望をどのように選んでいいかわかりません。

A 行きたい高校があるということは、素晴らしいことです。何かを決める時、第1希望が魅力的であるほど、その次の候補はかすんでしまうものです。他に行きたいと思える高校が見つからないということは、きっと第1希望の高校はとても魅力的なのでしょうね。

ところで、なぜその学校に行きたいと思ったのでしょうか？ 学力に合っている、制服がおしゃれ、家から近い…。いくつかあるとしたら自分がいちばん大事にしたい理由は何かな？と考えてみてください。紙に書き出してみるのもいいでしょう。そして大事にしたいものから順に並べてみてください。その大事にしたいことを実現できそうな学校はどこかな？と考えると、次の候補が見えてくるかもしれません。

その時はその学校に足を運んで、見学をしたり、雰囲気を感じたりしてみましよう。自分の直感も大事です。「ワクワクする」「ぴったり」という自分の中に起きてくる感覚に目を向けてみましょう。体の感覚はあなたに大切なことを教えてくれるものです。

私は仕事柄、子どもたちから将来の夢の話を聞く機会があります。例えば「大きな家に住みたい」という夢を持っている子には、「大きな家に住んで、どんなことをしたいの？」と聞きます。するとその夢にはその子にとって大切なことが含まれているとわかります。

例えば「たくさんの人に来てもらいたい」という子は家族や友達に囲まれて生活することを大事にしたいのかもしれません。でも、それは他の方法でも実現することができます。そんなふうに自分が何を大事にしたいかを整理し、その後ろにある“気持ち”に目を向けてみると選択の幅を広げて考えることができるようになることもあります。

進路を決めるというのは大きな決断です。後悔の無い決断ができるといいですね。

（井出智博）

31

教師を志すことに不安を感じる（高2女子）

Q 教師になれる大学への受験を考えていたのですが、教師は長時間労働の仕事だと知って、働いていけるか不安に思い始めています。教師に絶対なる、という強い意志が持てません。どうすれば強い意志を持てますか。

A いま教師の中には、確かに長時間働いている人がたくさんいます。残業を減らす仕組みがなかったため、仕事量も労働時間もどんどん増え続けてきました。数年前から社会問題として注目され、学校現場では労働時間短縮に向けての試みを始めたものの、教師の仕事量を大幅に減らしたり、教師の数を大幅に増やしたりする動きは、まだ顕著に見られていません。

あなたの迷いやゆらぎは、大切なものです。あなたが「まっとうな感性」(＝人らしく働き、私生活も大切に、いきいき暮らしたい、と感じるセンス)を持っていることを示しています。教師の姿は、子どもたちにとって、もっとも身近な大人の働き方の一例です。身近な大人が長時間労働で、自分や周囲の人を顧みない働き方をしていたら、そのそばにいる子どもたちにも、きっと負の影響が出るでしょう。だから、あなたのセンスは教師になったとき、とても重要なものとなるのです。

教師の長時間労働を変えていくために、すでに声をあげ始めている先輩たちがいます。一方で、高校生時代から教師の働き方に疑問を感じ、それでも教師になるために大学に進学した現役大学生も知っています。その声を聴ける動画はインターネット上の動画共有サービス(YouTubeなど)で見ることができます。もしあなたが教師になったとしても、孤立してひとりで悩まなければならない状況ではなくなりつつあります。安心してください。

では、どの大学を目指せばよいのか、受験勉強で自分がかんばれるのか、ゆらぎますよね…。あなたはとても大切なゆらぎに出会っているので、そのゆらぎを持ったまま、教師になれる大学への受験に挑戦してみてもいいんじゃないかな。あなたのような感性を持つ若い人たちを、教育の世界は求めているように感じています。あなたが精いっぱい、努力できますように。

(市原純)

32

政治に関心が持てない（高3男子）

Q 18歳になり有権者になりました。ただ、正直、政治にあまり関心を持ってません。まわりにいる同年齢の人たちの一部は政治に関心を持っているようです。また、仮に選挙が行われて投票することになっても、きっと誰を選んでいいかよくわからないと思います。

A 2016年に選挙権が18歳に引き下げられました。文部科学省は副教材などを作成していますし、高校ではさまざまな教育実践がなされていると思います。今年は、新型コロナウイルスの影響をうけて高校生が休校の継続を求める署名活動を行ったとも耳にしました。そうしたこともあって、クラスや友達のなかに政治に関心を持つ人もいると思います。

政治に関心を持たないと感じてしまうのは、そうした人と比べてしまうからかもしれません。他人から刺激を受けることはいい場合もありますが、むりやり政治に関心を持つようにすることもよくないと思います。逆に自発的に政治への関心が生まれることを阻んでしまうとも考えられるからです。ただ、政治や政策は、ふだんの生活のいろいろなところに影響を与えています。例としてよく言われるのは買い物の際の消費税ですね。身の回りの仕組みを知ろうとすることは政治への関心につながっていきます。

選挙が行われた時に誰に投票するかは、きっと悩むと思います。その際には、まず発想を変えてみるとよいでしょう。つまり、迷ったり悩んだりした上で何かの判断をするチャンスを得た、と見方を変えてみてはどうでしょうか。

とはいえ、悩もうといっても、何も情報がないと困ってしまいますよね。幸いにも、最近はいろいろな情報やサービスがインターネット上にあります。例えば、自分の意見に近い政党などを紹介してくれるようなサイトがあります。きっと僕よりもそうした検索が上手だと思うので、調べてみてほしいです。もちろん、書籍や雑誌、新聞も参考になります。まずは、いろいろな情報やサービスを調べて知ることから始めてみてはどうでしょうか。

(上山浩次郎)

33

コロナ禍 子どもが元気ない（中1男子の母）

Q コロナ禍の世の中のせいか、最近、子どもの元気がなくなっている気がします。本人は「大丈夫だ」と言います。家族も気にしすぎだと言います。私の杞憂（きゆう）なのでしょうか。どのように接したらいいでしょうか。

A 新型コロナウイルス感染症の影響による急激な環境の変化やギスギスした、しかも先行きが見通せない世の中の雰囲気、誰もいろいろなストレスを抱えています。思春期のお子さんはこのような環境の変化には特に敏感なため、精神的に不安定になることは十分に考えられます。

お子さんの元気のなさを心配するのは、親としてごく自然なことだと思います。私は子どものやる気やその反対のやる気の出なさ（抑うつ気分）について研究しているのですが、親御さんに子どもの状態を尋ねると、多くの場合、主に回答者はお母さんですが、子どものことをある程度正確に認識されており、お子さん自身の回答傾向とおおむね重なります。が、完全には一致しません。なぜならば、親がわが子へ向けるまなざしには、子どもに対する期待や不安なども混在するからです。私も2児の親でよく分かります。

実は子どもは、親から自分に向けられた視線を感じることに天賦の才を発揮します。おそらくは親がそう思う以上に、そうした期待や不安を敏感に感じ取ってしまうのだと思います。結果として、本人が意図してかどうかは不明ですが、親が思う通りの状態になってしまうことがあります。子どもに対して悪い方、たとえば、元気がないと親が思い込んでいると本当に子どもがそうになってしまう恐れもあるのです。

お子さんの状態を適切に把握し、本当に元気がなければ医療やカウンセリングにつなげることはもちろんですが、お母さん自身が過度にお子さんのことを悪い方に捉え過ぎないことも重要だといえます。過干渉に気を付けながら自然なコミュニケーションを心掛けてはいかがでしょう。世の中が落ち着き、子どもたちが生き生きと過ごせる日が一日でも早く訪れることを願っています。

（大谷和大）

Q A Q A Q A Q A Q A Q A

Q A Q A Q A Q A Q A Q A

Q A Q A Q A Q A Q A Q A

はははは(=して

Q A Q A Q A Q A Q A Q A

Q A Q A よかして Q A Q A

Q A かきま^せてみる Q A Q A

Q A Q A Q A Q A Q A Q A

Q A Q A Q A Q A Q A Q A

Q A Q A Q A Q A Q A Q A



子ども発達臨床研究センター

〈研究者名〉

あさかわ・かずゆき

あだち・じゅん
いちはら・じゅん
いで・ともひろ
いとう・たかし

うえやま・こうじろう
おおたに・かずひろ
おかだ・さとし
かとう・ひろみち
かわた・まなぶ

こんどう・けんいちろう
しのはら・たけし
せき・あゆみ

そん・みらん
とりやま・まどか
みやざき・たかし
まつもと・いちろう

〈専門分野〉

教育社会学
生徒指導論
発達障害の本人・家族支援
教育制度論
臨床心理学
言語発達論
発達心理学
教育社会学
教育心理学
発達臨床学
発達心理学
発達心理学
子ども環境学
教育学
学校経営論
小児神経学
特別支援教育
比較教育
教育福祉論
社会教育学
教育福祉論



はらばら(=して、……)

発達	6	特別	1	社会	3
心理	5	言語	1	福祉	2
臨床	2	障害	1	制度	1
子ども・小児	2	本人	1	学校	1
環境	1	家族	1	経営	1
教育	10	支援	2	生徒	1
神経	1	比較	1	指導	1

とがして

あさかわ・かずゆき

まつもと・いちろう



あだち・じゅん
 いで・ともひろ
 いちはら・じゅん
 いたう・たかし
 おおたに・かずひろ
 おかだ・さとし
 かとう・ひろみち
 うえやま・こうじろう

経営 発達 心理 怒種 教育 指導 障害 心理 制度
 社会 比較 教育 環境 心理 教育
 比較 教育 発達 臨床 教育 子育て
 特別 言語 臨床 本人 家族 福祉 発達
 教育 発達 社会 神経 発達
 発達 野心的教育 支援 心理
 発達 教育 皇族 子ども (小児)

かわた・まなぶ
 せき・あゆみ
 そん・みらん
 しのはら・たけし
 とりやま・まどか
 みやざき・たかし
 こんどう・けんいちろう

かきまぜてみる



あさかわ・かずゆき
 まつもと・いちろう
 みやざき・たかし

子ども (小児) 発達 心理 教育 障害 本人 制度
 せき・あゆみ 環境 発達 臨床 心理 子育て
 いたう・たかし 比較 教育 発達 臨床 心理 しのはら・たけし
 あだち・じゅん 比較 教育 発達 臨床 心理 しのはら・たけし
 あさかわ・かずゆき 教育 本人 家族 福祉 発達
 かわた・まなぶ 臨床 本人 家族 福祉 発達
 いちはら・じゅん 社会 こんどう・けんいちろう
 いで・ともひろ 皇族 うえやま・こうじろう 支援 心理
 発達 野心的教育 おおたに・かずひろ 社会





まだ
まだ
ケツが赤い

編集後記

何をかくそう私は北海道新聞「悩みごとナビ」に掲載されるQ&Aを毎回楽しみにしている「悩める中高生保護者」の一人です。「本当にその通り!」「そうはいつでも…」とツッコミを入れながら、わが子に直接伝えにくい本音を代弁するような回答を見つけた時には、切り取ってトイレの壁に貼りだしています。自分(の子や子育て)には重ならないことや通り過ぎてしまった悩みもありますが、どんな悩みも大事に受けとめ寄り添う研究者たちの回答には、やさしいお人柄を感じます。

この冊子では、さらにHAHAHANO.LABOの天性の(?)明るさが加わり、思わず「一緒に悩もうよ!」と誘い合わせたくなるような素敵な仕上がりになりました。ぜひ1冊ポケットにしよばせて、何かのピンチの折にはそっと開いてみてください。

子ども発達臨床研究センター研究支援推進員

大下なつえ

ピンチのおとも vol.1
-悩みごとナビQ&A-

執筆者紹介 (五十音順)

安達 潤 発達障害支援(本人・家族)
市原 純 教育制度論
井出 智博 臨床心理学
伊藤 崇 言語発達論、発達心理学
上山 浩次郎 教育社会学
大谷 和太 教育心理学
岡田 智 発達臨床論
加藤 弘通 発達心理学
川田 学 発達心理学、子ども環境学
近藤 健一郎 教育学
関 あゆみ 小児神経学、特別支援教育
宋 美蘭 教育学(比較教育)
松本 伊智朗 教育福祉論
宮崎 隆志 社会教育学

詳しくは、北大・子ども発達臨床研究センター
<https://www.edu.hokudai.ac.jp/rcccd>



発行日 2021年3月20日
発行 北海道大学大学院教育学研究院附属 子ども発達臨床研究センター
編集 加藤弘通・大下なつえ・二宮奈緒子(skybeans)
デザイン HAHAHANO.LABO (<https://hahahanolabo.com>)
イラスト 二宮幹
作品 二宮幹
62muni 土橋礼拓 (@62muni_aya)
長島尚希
めがね HAHAHANO.LABO
空 氣 薫科公平・小澤綾花・土橋礼拓・望月彩加・二宮敬・二宮幹・森稔夫
アキ・iTA・藤本元気・蒲田衣麻莉・小林加奈・名倉真波・須田亜紀
佐野桐子・岡田智・大下なつえ



! ? | ? | ? | ? | ? | ? | | ! ? | ? !
? ! ? ! ? ? ? | ! ! ! ? ? ? ! ? !
! ? ! ? ? ! ! ? ? ! ! ? | ? ? ! ?



<https://www.edu.hokudai.ac.jp/rcccd>

北海道大学大学院教育学研究院附属 子ども発達臨床研究センター